

明治八年  
大坂  
錦馬  
新聞  
第十一号

敬のへ婦女子の親慎に情欲  
東京深川御船町のことわり  
十五年とむと娘に婿と

定めた又勝田作治郎とて吉日の婚禮に表つたり  
一人の男誰に遠慮も嫁約進けらるる上座を  
皆さん聞きて當家の娘おとと夫婦の約束をまたの  
おまが一番地清水といへ苗字あら泥とぬまこ此つと  
洗つてまろと威張りまへ四海浪さ突波のことく

大とくふふふの九度まのて三々こつを罵る者ハ  
誰あんとつづく顔と官本といへる男又覺見ある  
娘も今と面目もあくまもかけぬまらありあり

右正情堂九化謀  
縁帽子き娘あらで嫁約中  
親の天狗の曲ふたは姑



石和板

60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90

